

運輸日報

號外

昭和四年六月十三日 (木曜日)

橫濱市電氣局運輸課

從業員諸子ニ告グ

大正十二年ノ大震火災ニ由ツテ殆ンド灰燼ニ歸シタ我橫濱市モ、爾來六年間市民ガ臥薪嘗膽ノ苦ヲ忍ビ懸命ノ努力ヲシタ結果、漸ク今日ノ復興ヲ見タノデアアル。併シ其經濟的方面ノ實情ヲ察スルニ、今日却テ疲弊ノ極ニアル様ナ次第デ、今後市民ハ更ニ大キイ決心覺悟ヲ以テ之ガ回復ヲ期セネバナラヌ次第デアアル。

サテ運輸交通ノ事業ハ、丁度人體ニ於ケル血管ノ様ナモノデアアル。血管ヲ通ジテ身體ノ各部ニ營養素タル血液ヲ送ル様ニ、電車ニ依ツテ橫濱市ノ各部ニ活動スル市民ヲ輸送スルノガ吾々ノ役目デアアル。今ヤ經濟復興ノ爲ニ全市民ガ心血ヲ注イデ日夜苦心慘膽タルノ際、其ノ活動ヲ自由ナラシメ愉快ナ交通ヲ與ヘルコトガ、如何許リ市ノ復興ヲ助ケル事デアラウカ。圓滑ニ滯リナク電車ヤ自動車ノ運轉ガ出來タナラバ、ソレガ直ニ橫濱市ヲ肥エ太ラスコトニナルノデアアル。若シ圓滑ヲ缺イデ滯滞スル様ナ事ガアレバ、市ノ發展活動ガソレダケ阻礙サレルノデアアル。

是レヲ見テモ如何ニ交通運輸ト云フ事ガ重大ナ責任ノアル事業デアアルカガ分ルノデアツテ、吾々交通機關ヲ預ルモノハ、新橫濱市建設ノ大キイ擔任者デアアルコトヲ充分ニ理解シ、此名譽アル役目ニ向ツテ誠心誠意奉仕スルコトハ、吾々ノ喜ビデアリ誇リデアアルコトヲ思ハネバナラス。朝ニハ安ラカニ市民ヲ各其活動ノ舞臺ニ送ツテ充分ナ働キヲサセ、夕ニハマタ之ヲ迎ヘテ快ク慰安ノ家庭ニ歸ラセル。其ノ乗車中ニハ如何ニモ心持ヨク休養ノ氣分ニナレル位ニ心掛ケルノ